

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー

KIKUSUI



福まち通信

No.76 2014.10.01
菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX 011-811-3831
URL <http://kikusui-net.jp>

南町夏まつり



(のぞく公園)8.2(土)

上町夏まつり



(白石公園)8.3(日)

こども手づくり
あんどん大会

残念ながら雨で中止となりました。



(一条橋橋台公園)8.7(月)
写真は昨年作品の一部です

東町
こども盆踊り大会



(四ツ葉公園)8.14(木)15(金)

菊水 夏まつり 2014

北町
こども盆踊り大会



(北公園)
8.14(木)15(金)
写真は昨年様子です

菊水神社例大祭



(菊水公園)9.6(土)7(日)

河岸公園盆踊り大会



(菊水河岸公園)8.15(金)16(土)

比較的災害の少ない街と言われて久しい札幌市ですが、今年は思わぬ雷と豪雨に見舞われ、市内各所で崖崩等が発生し、菊水でも各学校が避難場所に指定されるなど、平穏に暮らしていることのありがたみを改めて痛感しました。しかし、例年各町内で実施されている夏の行事は、7月7日のあんどん大会を除き好天に恵まれ、子

どもたちを中心に多くの人達で賑わいを見せました。菊水の街並みも年々都市化の様相を増す中、ともすれば希薄になりがちな地域の絆を再認識させる意味においても、関係される皆様の日頃の活動とその努力に心より感謝致しますとともに、福まちの活動により一層のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。



明るい笑顔が健康のしるし

平成26年度「高齢者ふれあい交流会」開催!

毎回好評の「高齢者ふれあい交流会」が7月4日(金)午前10時から2時まで107名の方が参加され、お互いの交流と心身のリフレッシュを目指し、菊水地区会館において開催されました。

午前の部は恒例の寸劇、今回は「菊子さん、食べなくなって激やせ?の巻」。普段明るくおしゃべりな菊子さん、食欲がなくてふさぎ込んでいる様子に会場みなさんも心配顔でしたが、周囲の励ましにみるみる普通の元気を取り戻し一同ひと安心。お馴染みのボランティアキャストの熱演は大いに会場を沸かせました。その後会場を移し、バステルアートの制作や血圧測定、健康チェックなど有意義な時間を過ごし、いよいよお待ちかねのランチタイム。今

回のメインは「おにぎりと具だくさんの団子汁」。福まち女性部が買い出しや仕込みに精を出していただいた努力が実り、満足そうな笑顔が会場いっぱいに広がりました。

午後の部は「なおこバンド」によるステージ。お琴を奏でながら熱唱するなおこさんの歌にうっとり。アフリカ出身メンバーのパーカッションの独特のリズムにびっくり。ギター担当の方の素敵な司会にほんのりと、3人の息のあったパフォーマンスに、大きな拍手が2階ホールいっぱい溢れました。なおこさんには、昼食時のBGM演奏も務めて頂き、大奮闘に本当に感謝に堪えません。

楽しかった時間もあっという間に過ぎ、帰りにはみなさんお土産を手にとり三々五々会場を後にしました。



高齢者健康増進フェアのご案内

とき：11月14日(金)10時から12時頃まで

ところ：菊水地区会館 プログラム：「菊子さん、認知症になる・・・?の巻」
「民謡、歌と踊りと腹話術ショー」

※おみやげも用意しております。多くの皆様の参加をお待ちしております。



「伝える」ふるさとへの想い未来へ

第39回白石区ふるさとまつり

7月19日・20日の2日間、白石区役所駐車場において、恒例の「第39回白石区ふるさとまつり」が開催されました。

今年は連日の好天にも恵まれ、会場には区内の各町内会や各種団体などの屋台が立ち並び、ステージでは片倉鉄砲隊と甲冑武者のパフォーマンスや白石高校吹奏楽部の演奏などが繰り広げられ、約4千人の区民で大いに賑わいました。菊水地区からも、町内会を始め各種団体の代表として多くの方がボランティアとして参加され、文字通り汗だくの活躍をされました。2日間本当にお疲れ様でした。





きめ細かな見守りと訪問活動が大事

平成26年度第1回福まち研修会開催される



去る8月22日(金)菊水地区会館で「上手な見守り・訪問活動について」と題して、講師に札幌市社会福祉協議会 地域福祉課係長 佐藤 和人 様をむかえ、61名の参加を得て基調講演をされました。

ことし6月、札幌市社会福祉協議会から、各単町会長および関係各位に冊子「みんなで気にかけて見守りのすすめ」を、配布しましたが、そのフォローアップとして今回の研修会を開催しました。

各町内会で参考にして活動していただくと幸いです。

～上手な見守り・活動訪問について～

1、地域で見守りが必要な理由

- ・高齢化がスピードアップ
- ・高齢者のひとり暮らし世帯の増加
- ・結婚しない人の増加
- ・地域社会から孤立(コミュニティからの離脱等)

2、できる限り孤立させないための取り組み

- ・住民同士のつながりをつくりだす仕掛け作り
- ・近隣住民以外の人との関係性を作り出す仕掛け作り
- ・身内の関係性を高める仕掛け作り

3、段階的な見守り活動

- ・見守り活動を4つの段階に区分
 - ① 周囲からの見守り(穏やかな見守り)
 - ② 声かけ・あいさつ
 - ③ 交流の場
 - ④ 訪問(しっかりとした見守り)

4.地域(町内会・自治会)が見守る数の把握

- ① 地域が支援する世帯の数
 - ・高齢者／一人暮らし世帯
 - ・高齢者／夫婦のみ世帯
 - ・障がい者のある方の世帯
 - ・子育て中の世帯
 - ・その他(日中独居等)
- ② 日常生活支援の種類と数
 - ・訪問
 - ・見守り／電話
 - ・見守り／周囲からの見守り
 - ・除雪支援
 - ・外室、託児支援
 - ・家事、育児支援
 - ・介護支援

以上



赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

赤い羽根共同募金10月1日スタート



今年も「赤い羽根街頭募金」が10月1日(水)、全国一斉にスタートします。

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。

当初は戦後復興の一助として、戦争の打撃を受けた福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、「社会福祉事業法(平成12年社会福祉法に改正)」という法律をもとに「民間の社会福祉の推進」に向け

て、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

そして60年以上たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。

※共同募金会ホームページより転載

当菊水地区からは●菊水地区民生委員・児童委員協議会●保護司会菊水分区●菊水東町老人クラブ紅葉会●菊水青空子ども会の4団体が毎年参加、待ちゆく人たちに募金活動を行います。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



コートいっぱい元気な歓声が響く 第4回「菊水地区小学生対抗ドッジボール大会」開催!

9月20日(土)10時から、東橋小学校体育館において、菊水地区青少年育成委員会の主催による「菊水地区小学生対抗ドッジボール大会」が開催されました。

このイベントは3年前にやよい児童会館で第1回の大会が開かれ、その後学校開放を利用して会場を東橋小体育館に移し今年で4回目を迎えることとなりました。東橋・幌東・上白石の各小学校から118名の元気な生徒さんたちが、一部は育成委員の引率で朝早くから集合。学校・学年・男女のバランスを調整し8つのチームがA・B二つのコートに別れ予選リーグを行い、それぞれの上位2チームで決勝トーナメントを戦いました。優勝チームには一人一人白石区のマスコット「しろっぴー」から賞状が、また本田育成委員会会長からは素敵な賞品が手渡されました。

6年生から1年生まで、男女混合の即席チームでの戦い、はじめはぎこちなさも見受けられましたが、試合を重ね



るごとに上級生が下級生をフォローする場面が多くなり、初めてのドッジボール体験と思われる1年生も、飛んでくるボールを上手にかわすファインプレーも随所で見られました。また、3つの小学校をミックスしたチーム編成は、学校の垣根を越えた会話や交流の場面もあり、このようなイベントのもたらず地域活動の意義の深さを改めて感じさせてくれた一日でもありました。審判を務めていただいたやよい児童会館を始め各ミニ児童会館のスタッフの皆さん、ご協力大変ありがとうございました。

第3回「菊水ふれあい音楽祭」

とき ■平成26年10月25日(土)
午後1時開演(12時30分開場)

ところ ■菊水地区会館(7-2)

入場料 ■無料

- 出演団体 ●コーラス「どんぐり」
●民謡サークル「白友会」
●小樽商科大学グリークラブOB会
●コーラス「baumクーヘン」

主催 ■菊水地区まちづくりネットワーク会議
連絡先 ■菊水まちづくりセンター
(011-811-9445)



白石区のマスコットキャラクター「しろっぴー」

菊水としては初めての本格的な音楽イベントとして話題を呼んでいる「菊水ふれあい音楽祭」は、今年で3回目を数え、10月25日(土)午後1時から開催されます。身近に音楽と触れあうことのできる楽しい催しです。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

編集後記



◆今年は夏の暑さもそれなりの感じで、お盆の前後からは朝夕に肌寒さを感じるようになり、秋が早まったかなと思う中、突然の豪雨と雷。そして緊急気象情報で飛び起き、ここ数年では珍しい避難情報が飛び交うなど、災害には比較的縁のなかった私たちにも日頃の備えを促す貴重な体験を得ました。また、東札幌での事件を始め、子どもたちを取り巻く環境が心配される事件も全国で相次ぎ、災害や事件に対する町内会などの地域ネットワークの重要性が改めて見直されています。私たち福まちの活動が、見守りをはじめとする日頃の暮らしへの啓発となる事を願ってやみません。

ご寄付をいただきました!!

マックスバリュー菊水店さんから、「幸せの黄色いレシート運動」の成果としてのご寄付を頂きました。

「幸せの黄色いレシート運動」とは、毎月11日をイオンデーとしてお客様に黄色いレシートをお渡しし、お客様の自発的行動で回収ボックスへ投函していただいています。回収されたレシートの売上金額の1%を地域のために活用していただこうと今回のような贈呈を行っています。

9月16日(火)、福まち大久保事務局長が「マックスバリュー菊水店」成田副店長さんから37,600円相当の洗剤の贈呈を受けました。福まち活動に大切にに使わせていただきます

